

【今回開通区間の特徴】

1．行き先に合わせ、ルート選択の幅が広がります。

今回の開通により、都心環状線を通過していた交通が分散され、目的に合わせたルート選択が可能となります。

例えば、高井戸(中央道)から三郷(常磐道)までの所要時間は、ピーク時で現在の約90分から、山手トンネル経由で約60分に約30分短縮されます。



2．渋滞が約2割削減します。

今回の開通により、④新宿線上りの渋滞が大幅に緩和されるなど、首都高速の渋滞がピーク時で約2割削減されます。その結果、④新宿線三宅坂JCT付近の流れがスムーズになり、高井戸から霞が関までの所要時間は、ピーク時で約40分から約30分に約10分短縮されます。



渋滞状況は、平日朝ピーク時(11時)の速度20km/h以下の渋滞区間を示す。

(開通後は有明辰巳JCT間改良の効果も含む)

3．経済効果

交通事故や走行費用の減少、所要時間の短縮により、高速道路や一般街路も含めた経済効果は、年間約930億円と試算しています。

4．年間で約6万tのCO₂削減につながります。

中央環状新宿線（④新宿線～⑤池袋線）が開通すると、年間で約6万tの二酸化炭素（CO₂）約70tの窒素酸化物（NO_x）約4tの浮遊粒子状物質（SPM）の排出を減らすことができます。

目に見えないトンネル構造で大きな効果が期待されます。

④新宿線～⑤池袋線 開通後効果

CO₂は年間約6万t削減

山手線内側の面積 ×



9割の森

と同じ効果です

NO_xは年間約70t削減



×

3万台

と同じ効果です

SPMは年間約4t削減



500mlペットボトル

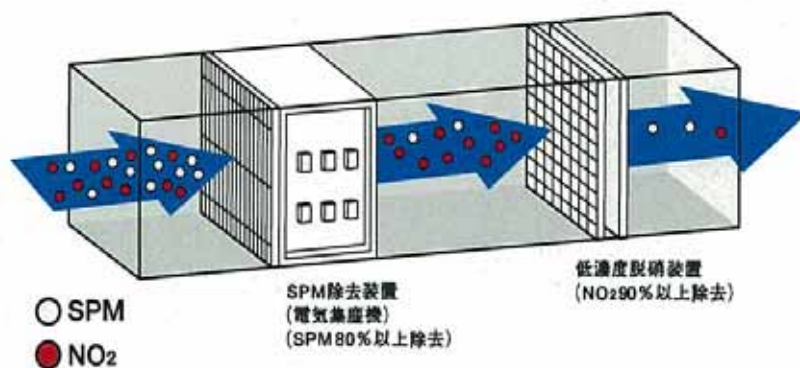
×

4万本

と同じ効果です

5．最新技術の低濃度脱硝設備を導入

山手通り周辺の大気質状況等に考慮し、換気所周辺の局所対策として低濃度脱硝設備を今回開通する区間の全換気所に導入しました。これにより、二酸化窒素（NO₂）を90%以上、浮遊粒子状物質（SPM）を80%以上除去します。



6．万全の防災安全設備

安全・安心の道路へ都市内長大トンネルとして、お客様の安全確保を第一に考えた国内最先端の防災安全設備を備えています。



1 管制室



【通常時の安全設備】

管制室
テレビカメラ
トンネル照明設備

【火災発生時の防災設備】

自動火災検知器
水噴霧設備
排煙口(換気口)

【火災発生時、ドライバーの方に利用していただく設備】

消火器・泡消火栓(約 50m 間隔)
押ボタン式通報装置(約 50m 間隔)
非常電話(約 100m 間隔)
非常口(約 350m 間隔)

【首都高独自の追加防災設備】

拡声放送スピーカー

7．首都高バイク隊の導入

山手トンネルの開通にあわせ新しく二輪車による首都高バイク隊を導入し、パトロールの強化を図ります。

山手トンネル区間を24時間体制で巡回して、日々交通安全の確保に努めていきます。

また、火災時には早期に火点付近の分岐部に到着し、遮断機により車両排除誘導を行います。

